

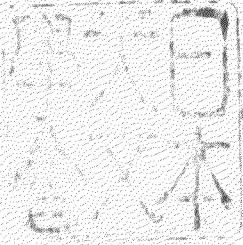
天文月報第二十四卷第十二號附錄 昭和六年十二月一日發行

自昭和六年一月  
至昭和六年十二月

(西紀一九三一年)

# 天文月報

第二十四卷



日本天文學會

# 天文月報 第二十四卷 總目次

## 雜 錄

### 論 說

星雲の彼方(一)	理學博士 萩原雄祐	一號	一頁
惑星狀星雲(三)	理學士 窪川一雄	二	二一
星雲の彼方(三)	理學博士 萩原雄祐	三	四一
惑星狀星雲(四)	理學士 窪川一雄	三	四七
星雲の彼方(四)	理學博士 萩原雄祐	四	六一
看聞御記に見えた新月の觀測と三正綜覽の一誤謬	小川清彦	四	六五
太陽の磁氣現象(一)	理學士 矢崎信一	五	八一
星雲の彼方(補遺)	理學博士 萩原雄祐	五	八七
太陽の磁氣現象(二)	理學士 矢崎信一	六	一〇一
恒星運動から銀河回轉まで(一)	理學士 籙木政岐	七	一一一
吾妻鏡に見えた錯簡の二天文記事	小川清彦	七	一二七

### 恒星進化概論

恒星進化概論	理學博士 平山清次	八一	四一
恒星運動から銀河回轉まで(二)	理學士 籙木政岐	八	一四五
無線報時の修正値に就て(一)	田代庄三郎	九	一六一
恒星運動から銀河回轉まで(三)	理學士 籙木政岐	九	一六五
曆法改正問題に就て	理學士 神田茂	十一	一八一
恒星の光行差に就て(一)	理學士 中野猿人	十一	一八四
無線報時の修正値に就て(二)	田代庄三郎	十一	一八八
天體寫眞とレンズ(一)	中村要	十一	二〇一
恒星の光行差に就て(二)	理學士 中野猿人	十一	二〇四
六國史時代の本邦の天文記錄	理學士 神田茂	十二	二二一
天體寫眞とレンズ(二)	中村要	十二	二二四

星の距離測定に關する最近の企て(一)

星の距離測定に關する最近の企て(一)	S・A・ミッチェル	一	七
オーロラとそのスペクトル	C・S・ムント	一	一一
「プレシシュタイン」の一節に就て	小川清彦	二	二七
星の距離測定に關する最近の企て(二)	S・A・ミッチェル	二	二八
大銀河説	H・シャプレー	二	三二
ウォルフ・ライエ星(一)	C・S・ピールス	三	五三
ウォルフ・ライエ星(二)	C・S・ピールス	四	六九
天體望遠鏡に就いて(一)	M・A・エンズリイ	四	七三
天體望遠鏡に就いて(二)	M・A・エンズリイ	五	八八
ラヂオに及ぼす太陽黒點の影響	M・T・ステトソン	五	九〇
新星解述の基礎的物理及び化學原理(一)	A・C・ギッフオード	五	九三
黃道光を探ねて(西印度紀行)(一)	ホフマイステル	六	一〇四
新星解述の基礎的物理及び化學原理(二)	A・C・ギッフオード	六	一〇六
第四十六回定會記事		六	一〇九

昭和五年度會務報告

黃道光を探ねて(西印度紀行)(二)

ホフマイステル

故木下國助君

石井重雄

「時」に就ての思出 隈本有尙

學位論文審査要旨(關口鯉吉氏)

數理物理學の立場から見た世界の

終局(一) A.S.エッディントン

學位論文審査要旨(萩原雄祐氏)

數理物理學の立場から見た世界の

終局(二) A.S.エッディントン

蓮沼左千男君の死を悼む

中野三郎

數理物理學の立場から見た世界の

終局(三) A.S.エッディントン

太陽系の成因 J.ジョーンズ

彗星發見の長田氏よりの通信

第四十七回定會記事

六一一

七一三〇

七一三二

八一四九

八一五一

九一七一

九一七四

十一九三

十一九四

十一二一〇

十二二二八

十二二三二

十二二三二

雜報

章動恒數の新決定

海王星の軌道

恒星の光度の長年變化

高溫度星

惑星狀星雲 N.G.C. 6826 の固有運

動

プルートーの古い觀測

一一四

一一四

一一四

一一五

一一五

一一五

一一五

渦狀星雲の視線速度と物質の分解

速度との關係

ペガス座渦狀星雲群の光度につ

いて

神戸射場天體觀測所

無線報時修正値

天文學談話會記事

昭和六年各種曆の對照表

外側宇宙の視線速度と銀河回轉

海に於ける太陽輻射

高速度渦狀星雲

岩石の溫度變化と地球自轉の不整

小惑星一九三〇年S<sub>Q</sub>

星の距離測定に際して負の視差が

現はれる理に就て

新濃氣差表

會員の訃

流星の速度と高度

地球大氣中のオゾン

月面の性質に就て

無線報時修正値

エロスが細長く見えるとの電報

高速度の天體

月及び惑星の溫度

強い電氣放電で照らされた瓦斯の

スペクトラ

一一五

一一六

一一六

一一七

一一七

一一八

一一八

一一八

一一八

一一八

一一八

一一八

一一八

一一八

一一八

一一八

一一八

一一八

一一八

一一八

一一八

一一八

一一八

一一八

一一八

一一八

ミルンの恒星構造の新理論

レーン法則の證明

新變光星の命名

銀河系外星雲に於ける速度と距離

との關係

星の自轉

マジラン雲の寫眞光度

四月三日の月食

新著紹介

無線報時修正値

月の經度の誤差の年週項に關する

論

日食以外に於ける太陽コロナの觀

測

惑星の氣象狀態

大マジラン雲に於ける超巨星

エロスの平均自轉週期

無線報時修正値

木星の第八衛星

ボーデの法則及び類似法則

天王星の自轉週期

隕石の本源

惑星出入一覽圖

光の速度

最遠距離の渦狀星雲

米國の曆法改正案

四七五

四七六

四七六

四七六

四七六

四七六

四七六

四七六

四七六

四七六

四七六

四七六

四七六

四七六

四七六

四七六

四七六

四七六

四七六

四七六

四七六

四七六

四七六

四七六

四七六

四七六

運動の速い小惑星	六一六	高松宮東京天文臺御台臨	九一七五	彗星だより	十一二二五
エンケ彗星	六一六	木星衛星同志の食と掩蔽	九一七五	地球大氣の上層に於ける二三の現象	十一二二五
四月二十日の大流星	六一七	太陽の黒點とカルシウム緋羊斑と	九一七五	天體分光學と大氣の吸収	十一二二六
會員消息	六一七	輻射との間の相關	九一七六	デニング氏の計	十一二二六
無線報時修正値	六一七	長田彗星	九一七六	新著紹介	十一二二六
東京天文臺に於けるエロスの觀測	七一三五	光度四等の新彗星(ライヴス)發見	九一七七	會員消息	十一二二七
中村氏發見の新天體	七一三五	光度の強い變光星の觀測	九一七七	天文學談話會記事	十一二二七
イタリに於ける長週期變光星表	七一三五	オリオン座 $\alpha$ 星の變光	九一七七	無線報時修正値	十一二二八
大マジラン雲の回轉に就いて	七一三五	D・B・ピッカリング氏の來遊	九一七七	海王星の衛星の質量	十二二二三
巴里天文臺の移轉	七一三五	無線報時修正値	九一七七	視線速度を材料とせる太陽系運動	十二二二三
新著紹介	七一三六	コロナのスペクトルの變化	九一七五	及星流運動	十二二二三
役員任命	七一三六	週期變光星の新解釋	九一七五	天體スペクトル、光度、及大氣の減光作用	十二二三四
無線報時修正値	七一三六	有効波長と溫度との關係	九一七五	彗星だより	十二二三四
昨年十一月中村氏發見の天體	八一五三	アンドロメダ座 $\alpha$ 星のマンガン線	九一七六	獅子座流星群	十二二三五
新小惑星の軌道要素	八一五四	アインシュタイン塔シロスタット	九一七六	京都に於ける日本數學物理學會及び大阪に於ける第七回日本學術協會大會	十二二三五
エンケ彗星	八一五五	我國に於ける特殊補助費に依る天文學に關する研究	九一七七	會大會	十二二三五
惑星のスペクトルの意味づけ	八一五五	彗星だより	九一七七	惑星出入一覽圖	十二二三七
一九三〇年のウ・ルフ黒點數及びその他	八一五五	新著紹介	九一七八	改曆問題	十二二三七
第二回極地觀測年	八一五六	會員消息	九一七八	無線報時修正値	十二二三七
ジーンズの渡米	八一五六	無線報時修正値	九一七八	觀測	十二二三七
マイケルソン教授の計	八一五七	ケフェウス型變光星の長年光度變化	九一八九	十月に於ける太陽黒點概況	二一九
新著紹介	八一五七	銀緯に依る恒星の密度の差違	九一二三	十一月に於ける太陽黒點概況	二一九
天文學談話會記事	八一五七	B・D・18 $^{\circ}$ 3789 星のスペクトル	九一二四	太陽のウ・ルフ黒點數(一九三〇)	二一九
會員消息	八一五八	ヘリオメーター觀測の精度	九一二四		二一九
日本天文學會要報第二號	八一五八	十一月流星群の母彗星	九一二四		二一九
無線報時修正値	八一五八				

年十、十一、十二月)

十二月に於ける太陽黒點概況

一月に於ける太陽黒點概況

二月に於ける太陽黒點概況

太陽のウォルフ黒點數(一九三一年一、二、三月)

三月に於ける太陽黒點概況

流星の觀測(一九三〇年五—十二月)

四月に於ける太陽黒點概況

五月に於ける太陽黒點概況

六月に於ける太陽黒點概況

太陽のウォルフ黒點數(一九三一年四、五、六月)

七月に於ける太陽黒點概況

八月に於ける太陽黒點概況

太陽のウォルフ黒點數(一九三一年七、八、九月)

九月に於ける太陽黒點概況

## 天象

各月の主なる天象

流星群

變光星

東京(三鷹)で見える星の掩蔽

號	頁	號	頁	號	頁
一	一九	二	三九	三	五九

三 五七

三 五九

四 七九

五 九九

六 一一八

六 一一九

七 一三七

七 一三九

八 一五九

九 一七八

九 一七九

十 一九九

十一 二二九

十二 二三八

十二 二三九

四 七九

七 一三九

十一 一九九

十一 二一九

一 二〇

四 八〇

七 一四〇

十二 二〇〇

五 九九

八 一五九

十一 二一九

二 四〇

五 一〇〇

八 一六〇

十一 二二〇

六 一一九

九 一七九

十二 二三九

三 六〇

六 一一〇

九 一八〇

十二 二四〇

星座及び惑星だより

## 附録

變光星の觀測(一)

變光星の觀測(二)

一九三〇年變光星の極大極小

變光星の觀測(三)

變光星の觀測(四)

變光星の觀測(五)

變光星の觀測(六)

累年變光星觀測發表數

一九三一年變光星觀測發表數

一九三一年觀測者別觀測數

一九三一年變光星別觀測發表數

長週期變光星一九三二年の推算極大

大

一	三	六	八	一〇	一二	一三	一四	一四	一五	一五	一六
---	---	---	---	----	----	----	----	----	----	----	----